

風景とは何か ― 魁夷の風景、私達の風景

1階
展示室



4.「二つの月」リトグラフ

No.	作品名	原画制作年 ※は制作年	寸法(cm)	材質・技法	取材地
1.	残照 ざんしょう	1947(昭和22)年	43.5×60.6	リトグラフ	千葉県君津市、鹿野山
2.	郷愁 きょうしゅう	1948(昭和23)年	39.0×57.0	複製画	長野県茅野市
3.	季の詩(新潮表紙) ときのうた(しんちょうひょうし)	1954(昭和29)年	全12点より一部展示 各24.0×16.5	リトグラフ	―
4.	二つの月 ふたつのつき	1963(昭和38)年	51.3×45.0	リトグラフ	フィンランド、ヘルシンキ
5.	碧湖 へきこ	1969(昭和44)年	38.0×27.5	リトグラフ	ドイツ、ケーニヒ湖
6.	満ち来る潮 みちくるうしお	1970(昭和45)年	26.0×55.0	木版画	―
7.	夕べの町 ゆうべのまち	1972(昭和47)年 ※	30.0×20.5	木版画	―
8.	廃墟の夕 はいきよのゆう	1977(昭和52)年	31.5×45.5	リトグラフ	―
9.	瀧江月明 りこうげつめい	1978(昭和53)年	30.3×43.0	木版画	中国、桂林
10.	黄山良夜 こうざんりょうや	1980(昭和55)年 ※	28.0×37.5	リトグラフ	中国、黄山
11.	黎明 れいめい	1980(昭和55)年	42.5×60.7	リトグラフ	富士山
12.	京の春 きょうのはる	1997(平成 9)年 ※	32.0×22.5	木版画	京都市東山区、円山公園
13.	京の秋 きょうのあき	1997(平成 9)年 ※	24.0×23.5	木版画	―

目録番号は、陳列の順序と必ずしも一致しません。

東山魁夷 略年表

1908 年(明 41)	7月8日、横浜市生まれ。1911年、神戸市に転居。本名「新吉」は、坂出市榎石島出身の祖父の名をもらったもの。	1959 年(昭 34)	51 歳	第2回新日展に、榎石島を描いた《暮潮》を出品。
1926 年(大 15/ 昭元)	18 歳 東京美術学校(現・東京藝術大学)日本画科入学、	1962 年(昭 37)	54 歳	4〜7月まで北欧4カ国を写生旅行。
1931 年(昭 6)	23 歳 研究科に進み、結城素明に師事。雅号を「魁夷」とする。	1968 年(昭 43)	60 歳	皇居宮殿壁画《朝明けの潮》完成。
1933 年(昭 8)	25 歳 東京美術学校研究科修了。8月渡欧。	1969 年(昭 44)	61 歳	「朝明けの潮／京洛四季」展開催。
1934 年(昭 9)	26 歳 ベルリン大学哲学科美術史学部入学。翌年帰国。			4〜9月までドイツ、オーストリアを旅行。
1940 年(昭 15)	32 歳 日本画家川崎小虎の長女すみと結婚。	1971 年(昭 46)	63 歳	文化勲章受章、文化功労者に選ばれる。
1945 年(昭 20)	37 歳 召集をうけ熊本に配属。	1973 年(昭 48)	65 歳	唐招提寺御影堂の障壁画制作を受諾。
	終戦後、千葉県市川市に移り制作再開。	1975 年(昭 50)	67 歳	「白い馬の見える風景」展開催。
1947 年(昭 22)	39 歳 第3回日展に出品した《残照》が特選を受賞、風景画家として立つことを決意。			唐招提寺御影堂の第一期障壁画《山雲》《濤声》を奉納、
1950 年(昭 25)	42 歳 第6回日展に《道》を出品、好評を得る。	1980 年(昭 55)	72 歳	第二期障壁画《黄山晓風》《揚州薫風》《桂林月宵》を奉納。
		1998 年(平 10)	90 歳	第30回日展に《月光》を出品、最後の日展出品作となる。
		1999 年(平 11)		5月6日、逝去。



2025年度 第3期テーマ作品展
風景とは何か ― 魁夷の風景、私達の風景

2階
展示室



8.『芒野』リトグラフ

No.	作品名	原画制作年 ※は制作年	寸法(cm)	材質・技法	取材地
1.	滝スケッチC たき スケッチ	1953(昭和28)年頃 ※	53.2×38.9	紙本彩色	—
2.	滝スケッチD たき スケッチ	1953(昭和28)年頃 ※	53.0×36.0	紙本彩色	—
3.	滝スケッチE たき スケッチ	1953(昭和28)年頃 ※	39.1×30.0	紙本彩色	—
4.	滝スケッチF たき スケッチ	1953(昭和28)年頃 ※	36.5×27.0	紙本彩色	—
5.	滝スケッチG たき スケッチ	1953(昭和28)年頃 ※	38.0×24.1	紙本彩色	—
6.	夢の詩(新潮表紙) ゆめのうた (しんちょうひょうし)	1955(昭和30)年	全12点より一部展示 各24.0×16.2	リトグラフ	—
7.	古き町にて「コペンハーゲンの街角」 ふるきまちにて「コペンハーゲンのまちかど」	1964(昭和39)年 ※	25.5×35.4	リトグラフ	デンマーク、コペンハーゲン
8.	芒野 すすきの	1972(昭和47)年	25.9×37.0	リトグラフ	—
9.	白馬の森 はくばのもり	1972(昭和47)年	41.5×60.5	リトグラフ	富士山五合目のブナ原生林
10.	綿雲 わたくも	1972(昭和47)年	37.3×53.1	リトグラフ	—
11.	緑の詩 みどりのうた	1983(昭和58)年	33.0×65.0	リトグラフ	—
12.	月光 大下図 げっこう おおしたず	1998(平成10)年 ※	65.0×91.7	紙・鉛筆	山形県山形市、蔵王
13.	月光 げっこう	1998(平成10)年 ※	64.8×92.3	麻布彩色	山形県山形市、蔵王

目録番号は、陳列の順序と必ずしも一致しません。

版画の豆知識

版画にはさまざまな版の形式と技法がありますが、木、金属、石、絹といった版材でつくる版形式は、大きく4つ(凸版、凹版、平版、孔版)に分類できます。

木版画(凸版:とつはん) 浮世絵などで伝統的に用いられてきた技法。木の板を彫刻刀などの刃物で削り、デコボコを作ります。凸(トツ)の部分に絵具を塗り、紙をのせて圧力をかけて擦ります。凸の部分に塗った色だけが紙に写し取られます。	銅版画(凹版:おうはん) 木版画とは逆に、銅板に鋭利な刃物でキズをつけ、凹(オウ)の部分にインクを詰め、紙をのせて圧力をかけて凹(オウ)の部分のインクを刷り取ります。銅板を直接削って描画する「直接法」と、酸溶液に浸けて銅を腐食させることによって凹みをつくる「腐蝕法(エッチング)」があります。	リトグラフ(平版:へいはん) 表面を平らに磨いた石灰石(石板)の上にクレヨンや油性のインキなどで直接描き、その上に弱酸性溶液を塗ると、化学反応によって描かれた部分は油分を引き付け、描かれない部分は水分を保持するという、油が水をはじく原理を利用した技法。作画した部分にだけインクがつくように加工し、その上に紙をのせてプレス機で刷ります。	シルクスクリーン、セリグラフ(孔版:こうはん) 一枚の厚紙に適当な形の孔をあけ、その下に一枚の紙を置き厚紙の上から顔料を刷り込むと、顔料が孔を通り、その孔の形をそのまま下の紙にうつし取ることができます。この単純な原理から出発したのが孔版と呼ばれる版形式です。
--	--	---	---

版画の余白部分には何らかの記号が記され、それぞれに意味があります。

「○/▲」= エディションナンバーといい、分母(▲)には発行部数、分子(○)には通し番号を意味する数字が入ります。(例)「54/250」

「E.A.」= épreuve d' artiste (仏)作家保存用 「A.P.」= artist's proof (英)作家保存用 「H.C.」= hors commerce (仏)非商業用、作家や工房が保存する



香川県立
東山魁夷せとうち美術館
Kagawa Prefectural Higashiyama Kai Setouchi Art Museum

〒762-0066 香川県坂出市沙弥島字南通224-13
Tel.0877-44-1333 Fax.0877-44-0220
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/higasiyamakaii/higashiyama/>